

— 全国大会 in 東北・ふくしま実行委員長大和田新さんにきく —

きょうされん第36回 全国大会に向けて

は、自分のうちに置くだけ。何の意味があるのでしょか。なぜそういうことになるかという、最終処分場が決まらない、中間貯蔵施設が決まらない、行政の中にある仮置き場が決まらない、仮置き場を持っていくための仮置き場が決まらない、すべて何にも決まっていない状況の中で、末端の除染だけ始めているからです。しかし今は、もっと子どもたち

のために、教育や医療のためにお金を使うべきです。たとえば子どもたちに甲状腺がんのエコー検査をやっています。今の福島の子どもたちが、10年後20年後甲状腺がんになった場合、国が100%治療費を負担すべきです。それを法律化しなくてはダメです。国や県は、子どもたちを命がけで守らなくてはいけません。そうしないと福島県は本当に取り残されてしまいます。

いままでと違う大会として、われわれも楽しみにしています。大会に向けて一言お願いします。
大和田 暗い面だけではなく、福島の現状を伝え、がんばっていることを伝えながら、多くの方に来てほしいです。

福島県の農家の人たちは命がけでコメを作ったり野菜を作ったりしています。磐梯熱海温泉は非常に歴史のある素晴らしいところで、他にも元気な福島を全国に発信できればと思っています。
原発が廃炉になるまでは40年、その気の遠くなるような歳月の先にある福島県の復旧、復興を担うのは、福島県の若者たちですから、このきょうされんの全国大会が福

島で行なわれて、全国から障害のある人たちが来るという姿を、福島県の若者たちにも見てもらい、一緒になってつくっていきけるといいなと思っています。

みなさんお待ちしています。



きょうされん第36回全国大会 in 東北・ふくしま

■とき 2013年9月21日（土）・22日（日）

■場所 福島県郡山市磐梯熱海温泉 ユラックス熱海他

■大会テーマ ここから「つたえ つなぎ はじめる」